

鬼北町立広見中学校
道徳通信
道徳主任 酒井 智有
NO. 77
令和8年7月1日発行

よりよく生きる

人権学習（参観日）の紹介（2年生）

私の祖父（読み物資料）



【資料のあらすじ】

70歳になる私の祖父は、被差別部落出身であったが、小学校に通えず、義務教育を受けることができなかった。祖父は、父親が一生懸命働いて家族を養ってきたこと、自分自身も苦しい生活を強いられながら、頑張って生きてきたことなどを振り返る。当時、文字を奪われていた祖父も、現在は、独学で文字を学んだり、識字学級に通ったりしながら学習を続けている。私は、そんな祖父の姿に尊敬し、いつまでも元気で長生きしてほしいと願う。

「私」は、どんな気持ちでアルバムの名簿に名前を書いたのだろう。

- ・もしも学校に通えていたら、このアルバムには祖父の名前が載っていたはずだから、小学校を卒業した気持ちになってほしかった。
- ・学校に行くことができなかったけれど、祖父が得たものは大きかったと思ったから。
- ・学校に行きたくても行けなかった祖父の悲しい気持ち。家族のために頑張った祖父への感謝の気持ち。
- ・どんな生活だったとしても、人のために頑張ったおじいちゃんを尊敬している気持ち。
- ・差別がなくなしてほしいという気持ち。

あなたは、これからどんなことを大切に生きていきたいですか？

- ・勉強できることに感謝しながら生きていきたい。差別やいじめの加害者にならないように、一人一人に尊敬の気持ちを持って接していきたい。
- ・西光万吉さんのように、自分の弱さとも向き合って生きていきたい。他の人のために、何か頑張ることを大切に生きていきたい。
- ・自分の考えを大切に、自分がしたいことに誇りを持って進んでいきたい。そして、今の環境があることに感謝して、悔いのないように生きたい。
- ・何かに対して一生懸命な人はすごかったと思いました。だから、これから何に対しても一生懸命になれるようにしたい。感謝の気持ちを持ちたい。人のために生きていける人間になりたい。
- ・今でもある差別を一人一人が意識して生きていけば、差別はなくなると思う。差別用語は使わない。物事から逃げず、立ち向かっていきたい。

今回の資料は、差別の現実を深く学ぶことができる資料でした。私たちが、差別を許さず、解消していこうとする態度を身に付けていくことが、祖父の本当の願いなのかもしれません。